

桂馨重 かきいぢ 國學者。文化十四年九月一日越後國蒲原郡新津生れ、
 明治四年九月十五日歿（八二七一）。通稱慎吾。號方正居。代々新發
 田藩新津組大庄屋。鈴木重胤に國學を學び、出羽國庄内の大瀧光憲と
 共に重胤を援助、その著『日本書記傳』を上梓せしめた。佐藤信淵の
 學を信奉し、農事、民政に盡力。

重胤の著に注解を施した、『世繼草摘分』全二冊（明治十六年十月十一日
 白新編・桂馨輝刊）がある。

